

## 〈解答〉

- ① 1 オ
- 2 ①：直接 ②：間接
- 3 a：インフレーション〔インフレ〕 記号：ウ（両解）
- 4 エ
- 5 〔例〕 歳出が増加する一方で、十分な税収が得られていないため、国債発行額が増加していること。
- 6 国際法
- 7 イ

配点 ① 3, 5 は各 2 点, 他は各 1 点 10 点満点

## 〈解説〉

- ① 1 供給量は、市場において、売り手が商品のある価格で売ろうとする量で、需要量は、買い手が商品のある価格で買おうとする量である。供給量が需要量より多いときには、価格は安くなり、供給量は減っていく。逆に需要量が供給量より多いときには、価格が高くなり、供給量は増えていく。こうした過程を経て、最終的に需要量と供給量は一致する。市場価格のうち、このように需要量と供給量が一致する価格を均衡価格という。
- 2 お金に余裕のある経済主体と、お金を必要としている経済主体とが、お互いにお金を貸し借りする関係を金融という。企業が株式を発行するなどして、市場から直接資金を調達するしくみを直接金融という。これに対して、金融機関を通してお金のやり取りをするしくみを間接金融という。
- 3 経済は、好景気〔好況〕と不景気〔不況〕を交互にくり返す。物価が上がり続ける現象をインフレーション〔インフレ〕、下がり続ける現象をデフレーション〔デフレ〕と呼ぶ。一般的に、好景気のときにはインフレーションが、不景気ときにはデフレーションが発生する傾向がある。政府は不景気るとき、公共投資を増加させて民間企業の仕事を増やしたり、減税をして企業や家計の資金を増やすことで消費を増加させようとする。逆に好景気ときには、公共投資を減らして民間企業の仕事を減らしたり、増税をして消費を減少させたりすることで、景気をおさえようとする。
- 4 所得税、相続税は、国が徴収する税金である、国税である。主な租税の分類は、次頁の表の通りである。

## 【主な税金の種類】

		直接税	間接税
国税		所得税 法人税 相続税	消費税 揮発油税 たばこ税 酒税 関税
地方税	(都)道府県税	(都)道府県民税 事業税 自動車税	(都)道府県たばこ税 ゴルフ場利用税 地方消費税
	市(区)町村税	市(区)町村民税 固定資産税	市(区)町村たばこ税

- 5 1990年ごろまでは歳出も税収も増加していたが、1991年のバブル経済崩壊以降は経済低迷により税収が減少した。一方で、少子高齢化の進展による社会保障給付費の増加などにより歳出は増加を続け、不足を補うために国債発行額が増加した。また、2008年の世界金融危機の際には、税収が急減する一方で、財政政策のために歳出が急増し、国債発行額も急増している。
- 6 国と国の関係を定めるルールは国際法と呼ばれ、国と国とが結ぶ条約や、長年の慣行が法になった国際慣習法など、さまざまな形がある。
- 7 NGO〔非政府組織〕は、民間人や民間団体によるボランティア組織である。アWHOは世界保健機関、ウPKOは国連平和維持活動、エWTOは世界貿易機関である。